

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
小豆島町	安田地区(安田空条集落、安田東谷集落、木庄集落、橘・岩谷・当浜集落)	令和4年2月10日	-

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	57.3ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	35.1ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	21.4ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	8.5ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.3ha
④地区内において今後中心経営体引き受ける意向のある耕作面積の合計	4.9ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・車両が通行できる道幅の農道がない農地は耕作が難しい。 ・水田耕作は、機械の確保にかかる経費が大きく、利益が出ない。 ・自作地の営農が精一杯で、他者の農地利用まで進められない。 ・若年層は農業への関心が低く、また新規の就農はハードルが高い。 ・農地が点在しており、借入れがしづらい。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

安田空条集落では、中心経営体である農業者や集落内農業者が担っていく。
安田東谷集落では、中心経営体である認定農業者や認定新規就農者が担い、水田利用については中心経営体である集落営農法人と集落内農業者が担っていく。
木庄集落では、中心経営体である農業者等が担うほか、青年農業者の受入れを促進することにより対応していく。
橘・岩谷・当浜集落では、中心経営体である農業者が担っていく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	イチゴ	0.1 ha	イチゴ	0.1 ha	安田東谷集落
認農法	B	オリーブ	0.4 ha	オリーブ	0.4 ha	安田東谷、木庄集落
認農法	C	オリーブ	0.1 ha	オリーブ	0.1 ha	安田空条集落
認農	D	オリーブ	0.6 ha	オリーブ	0.6 ha	安田東谷集落
認農法	E	オリーブ	0.9 ha	オリーブ	0.9 ha	安田空条、安田東谷集落
認農法	F	オリーブ	0.1 ha	オリーブ	0.1 ha	橘・岩谷・当浜集落
認農	G	水稲、イチゴ	0.4 ha	イチゴ	0.2 ha	安田東谷集落
認農法	H	水稲、ソラマメ	0.8 ha	水稲、イチゴ、ソラマメ、長命草、オリーブ	5.4 ha	安田東谷集落
認就	I	イチゴ	0.1 ha	イチゴ	0.3 ha	安田東谷集落
認就	J		0 ha	オリーブ	0.1 ha	安田空条、安田東谷、木庄集落
到達	K	オリーブ、水稲	0.6 ha	オリーブ、水稲	0.6 ha	木庄集落
	L	オリーブ	0.8 ha	オリーブ、野菜	1 ha	安田空条集落
	M	オリーブ	0.6 ha	オリーブ	0.6 ha	橘・岩谷・当浜集落
	N		0 ha	養蜂	- ha	橘・岩谷・当浜集落
計	14人		5.5 ha		10.4 ha	